

**令和 7 年度
地産地消に関するアンケート結果**

**2026 年（令和 8 年）1 月
藤沢市**

1 令和7年度地産地消に関するアンケート調査結果

1 調査概要

(1) 実施目的

本アンケートの目的は、地産地消及び藤沢産農水産物に対する意識や関心、消費者の購買動向などについて調査し、今後の施策や事業の検討の参考とする。

(2) 実施方法

郵送アンケート調査

(3) 調査設計

- (1) 調査地域 市内
- (2) 調査対象 市内在住の18歳以上90歳未満の男女
- (3) 対象者数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 回答方法 郵送回答もしくはWEB回答
- (6) 期間 2025年11月4日（火）発送／11月30日（日）締切

(4) 回答状況

1,377人から回答（回答率45.9%）

うち、郵送 893件 WEB 484件

(5) 対象者内訳

次の年代別対象者数を前提とした地区別人口比に応じて抽出

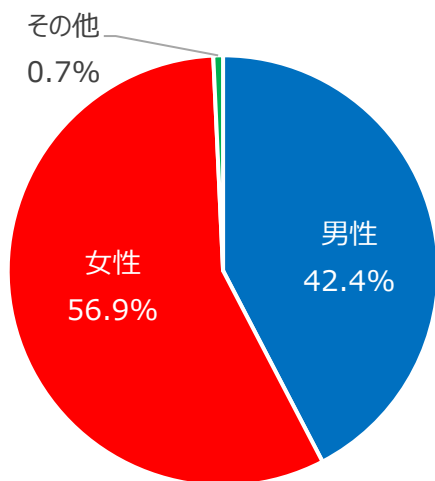
年代	対象者数（人）	年代	対象者数（人）
18歳・19歳	375	50歳代	375
20歳代	375	60歳代	375
30歳代	375	70歳代	375
40歳代	375	80歳代	375
		合計	3,000

(6) 調査結果を見る上での注意事項

- ・グラフに使われる「n」は各設問に対する有効回答者数、「k」は有効回答件数である。
- ・百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示。したがって、単数回答（1つだけ選ぶ問）においても、四捨五入の影響で、%を足し合わせて100%にならない場合がある。
- ・複数回答（2つ以上選んでよい問）においては、%の合計が100%を超える場合がある。

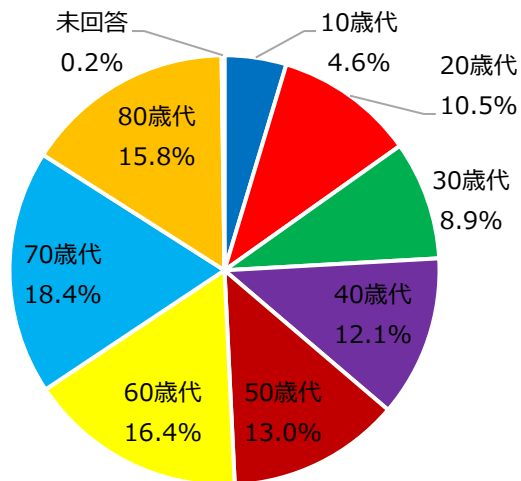
2 集計結果

(1) 性別をお答えください。



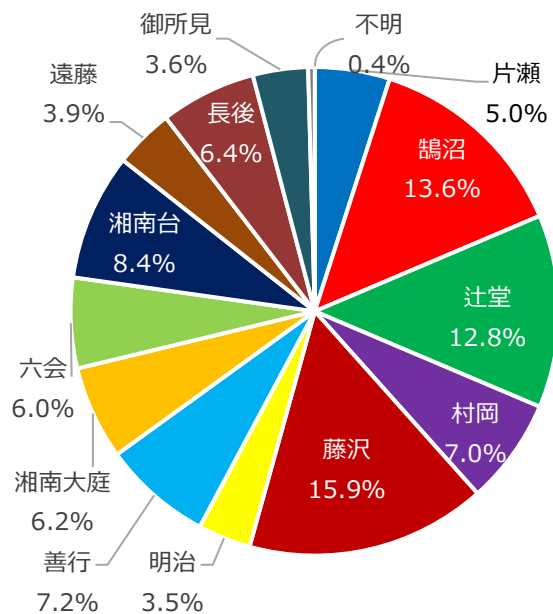
n = 1,374

(2) 年代をお答えください。



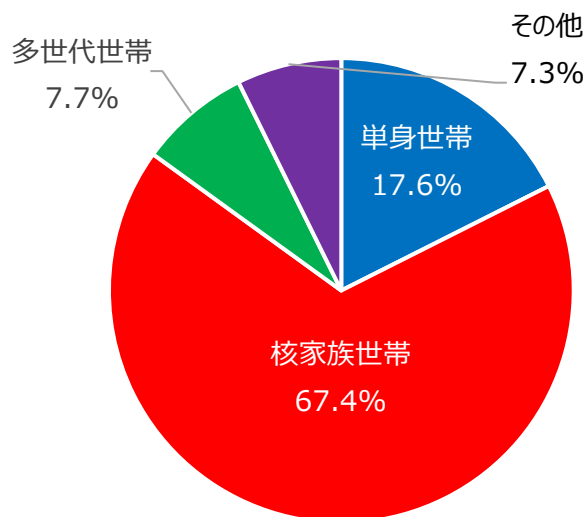
n = 1,374

(3) お住まいの地区をお答えください。



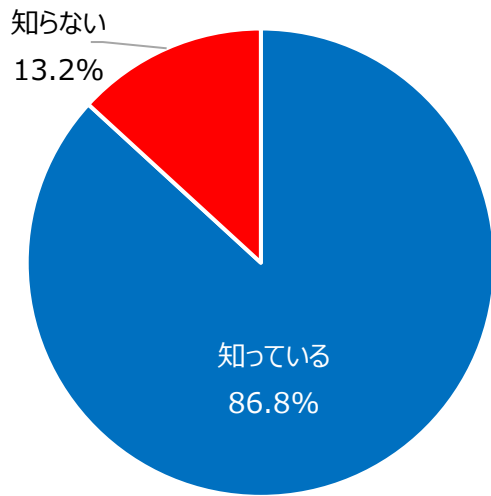
n = 1,364

(4) 世帯構成をお答えください。



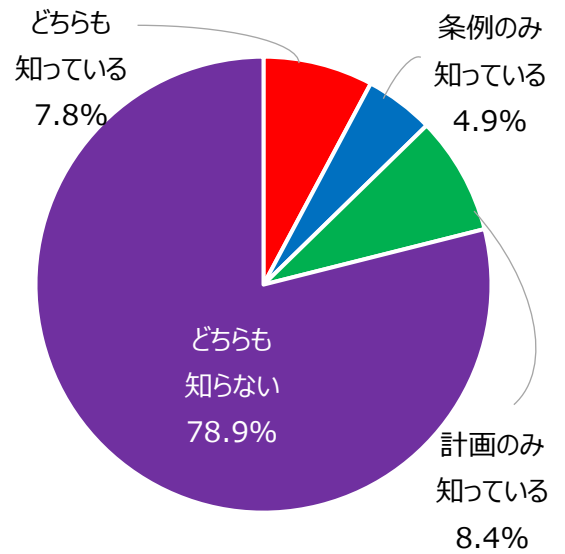
n = 1,371

(5) 「地産地消」という言葉をご存じですか。



n = 1,365

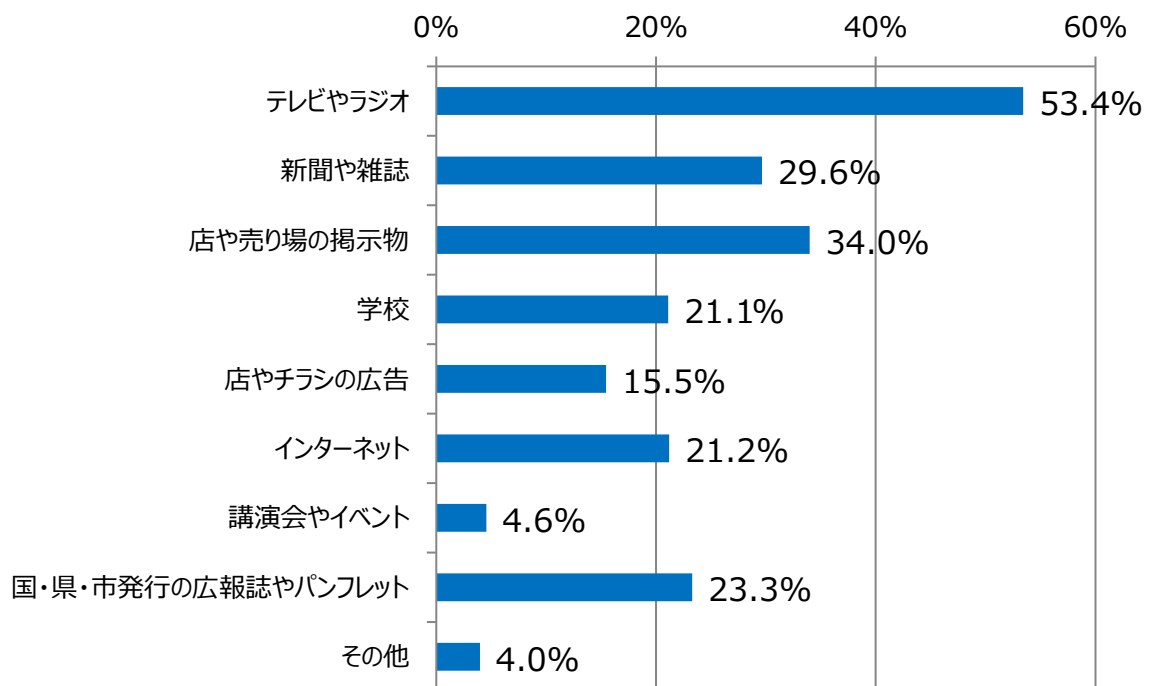
(6) 藤沢市の地産地消に関する
条例・計画をご存じですか。



n = 1,205

(7) 「地産地消」について何からお知りになりましたか。

((5) で知っていると回答した方) (複数回答可)

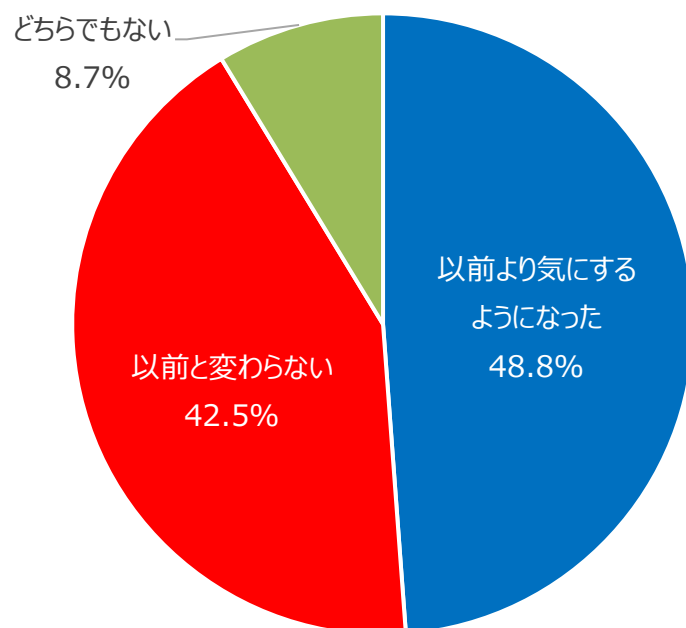


n = 1,009 k = 2,085

※主なその他の回答

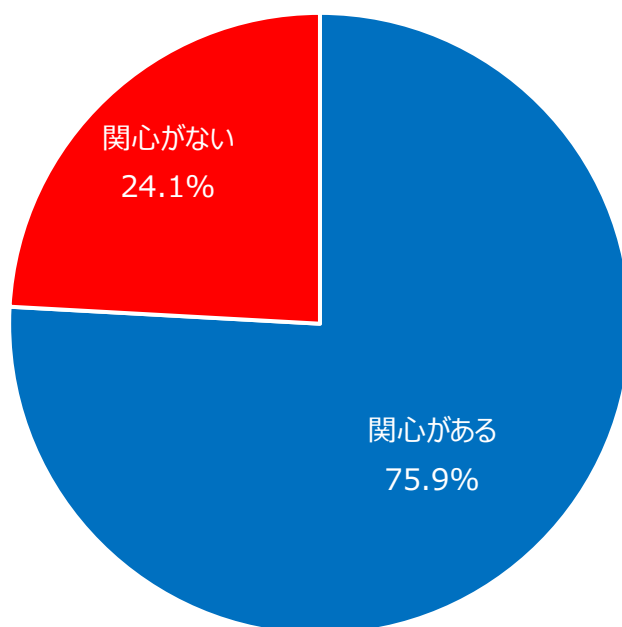
・仕事 ・知人や家族 ・スーパー ・農産物直売所 ・受験

(8) 住んでいるまちの農水産物を意識するようになりましたか。
((5) で知っていると回答した方)



n = 1,022

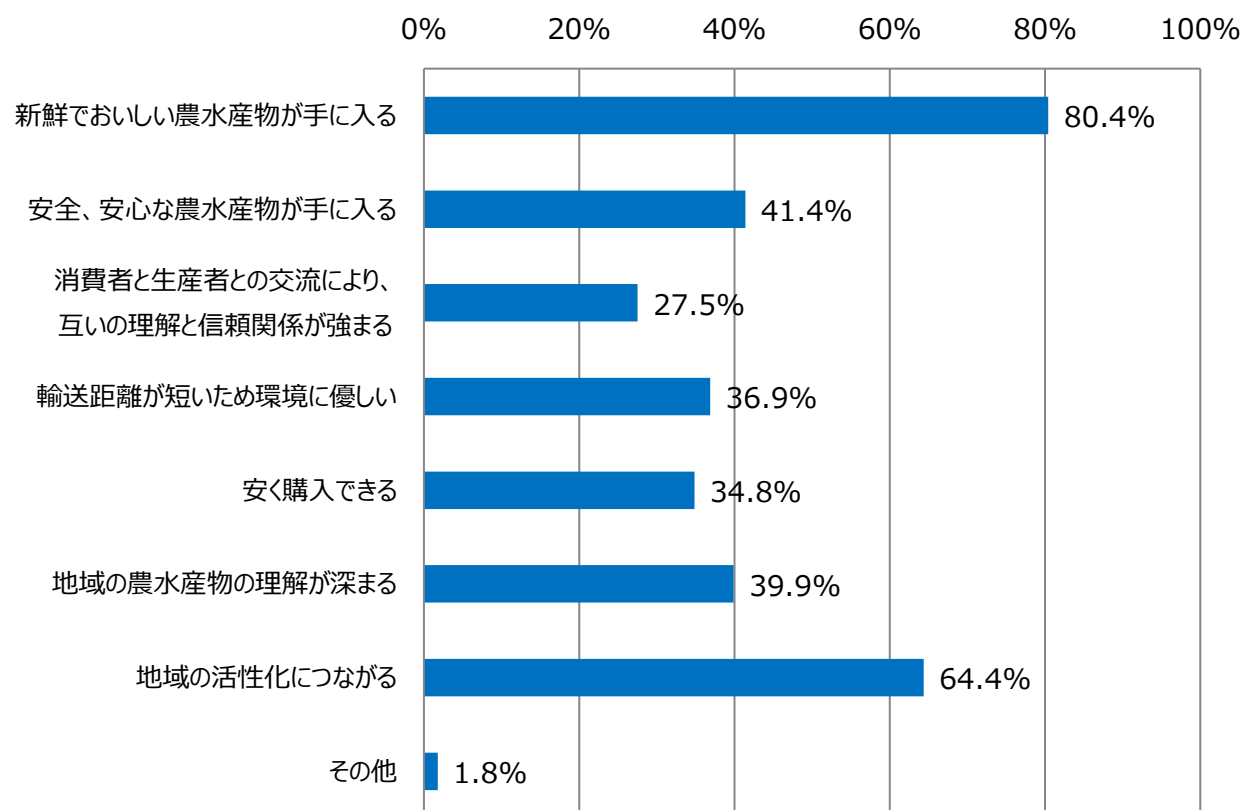
(9) 普段から「地産地消」に関心がありますか。
((5) で知っていると回答した方)



n = 1,003

(10) 「地産地消」のどのようなところに関心がありますか。

((9) で関心があると回答した方) (複数回答可)

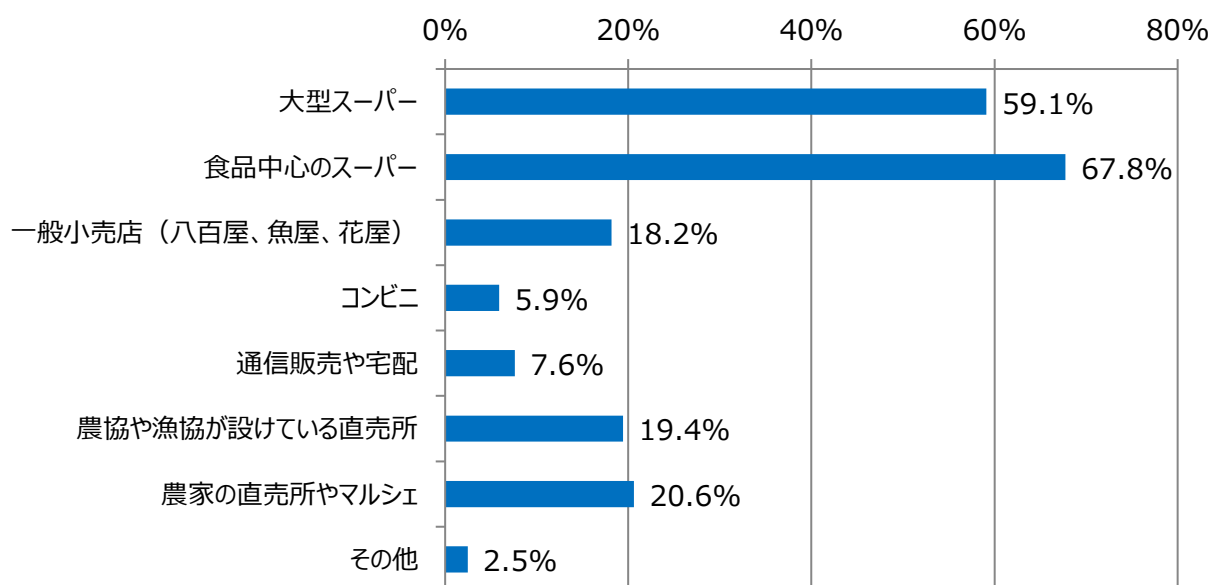


n = 792 k = 2,591

※主なその他の回答

- ・新鮮なものが食べられる。
- ・住んでいる土地ならではの美味しいものが味わえてよい。
- ・スーパーにないようなものもある。
- ・外国産に比べて農薬が少ない。
- ・地元の生産者応援。
- ・市内でどんな野菜が作られているか興味がある。
- ・住んでいる地域が好きなので、そこで取れたものというのに関心あり。
- ・農家レストランを利用している。
- ・価格は安くはないと思う。

(11) 普段、農水産物はどこで入手することが多いですか。(複数回答可)

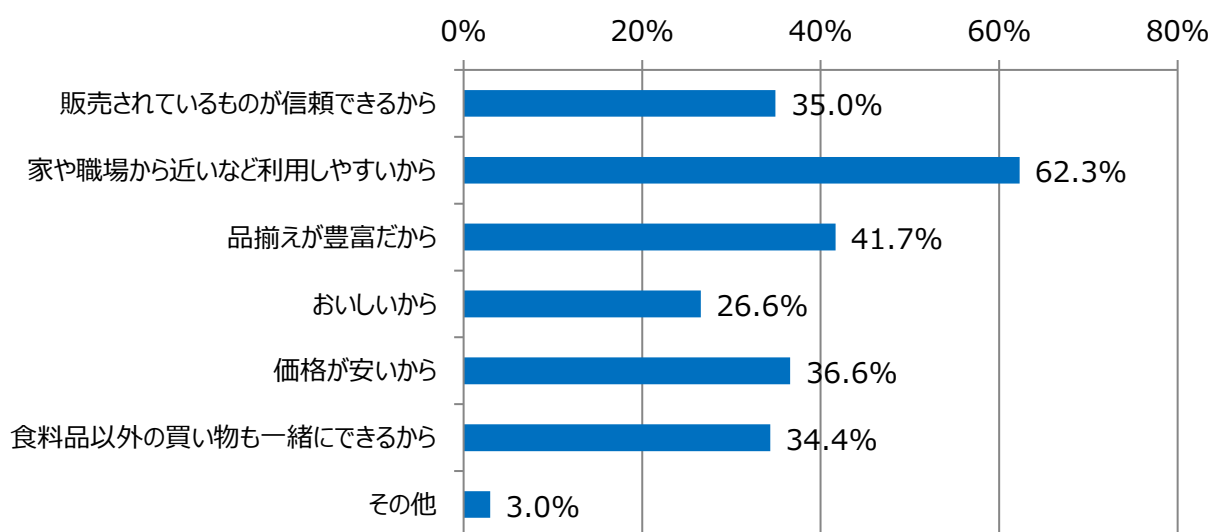


n = 1,343 k = 2,700

※主なその他の回答

- ・生活協同組合
- ・実家の畑
- ・ドラッグストア
- ・デパート
- ・知人
- ・湘南藤沢地方卸売市場

(12) (11)で農水産物を入手されている理由は何ですか。(複数回答可)

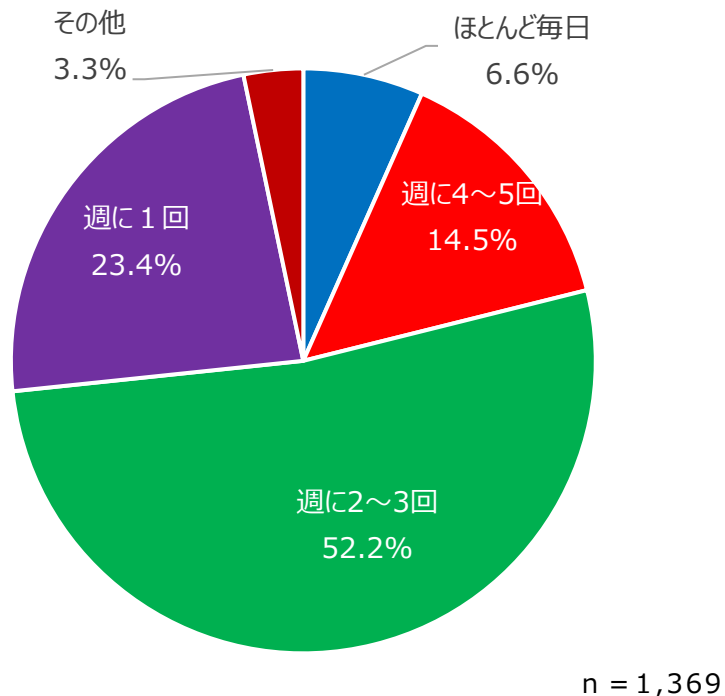


n = 1,339 k = 3,206

※主なその他の回答

- ・新鮮だから。
- ・価格が安定している。
- ・安心安全だから。
- ・生産者を少しでも応援したいと思うから。
- ・旬のものがわかり、選べるから。
- ・自身の住んでいる地の歴史などの勉強にもなる。
- ・無農薬／有機栽培だから。
- ・季節感がある。
- ・販売者の名前があり安心できる。
- ・お弁当が多い。
- ・値段が安くて品質も良い。

(13) 農水産物を購入する頻度はどれくらいですか。

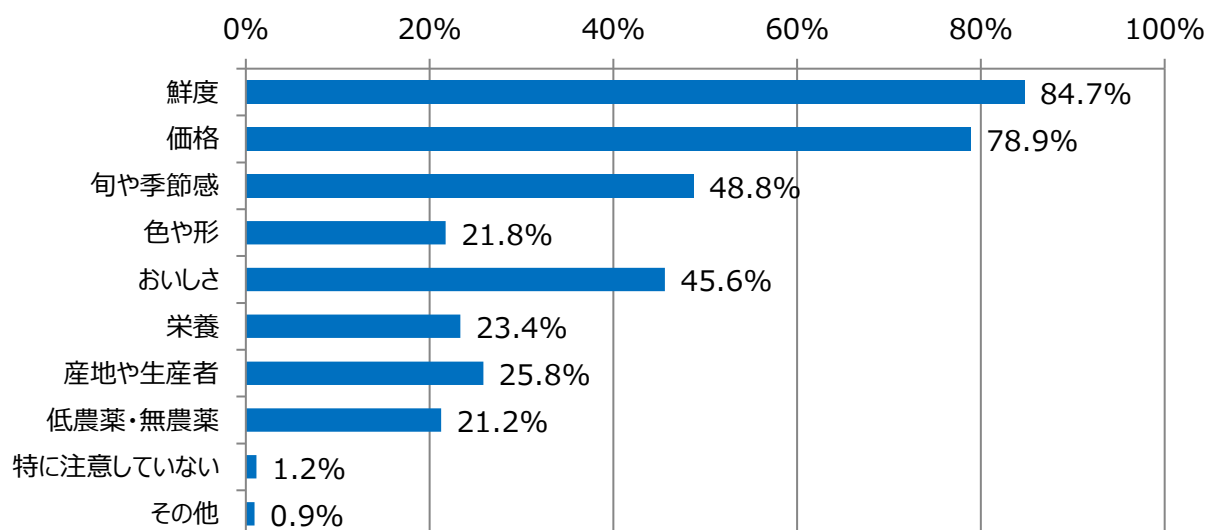


※主なその他の回答

- ・月に1〜2回
- ・2週間に1回
- ・2か月に1回
- ・自分では購入しない
- ・季節のものを季節ごとに購入

(14) 購入する農水産物について、どのようなことに注意して選んでいますか。

(複数回答可)



n = 1,370 k = 4,827

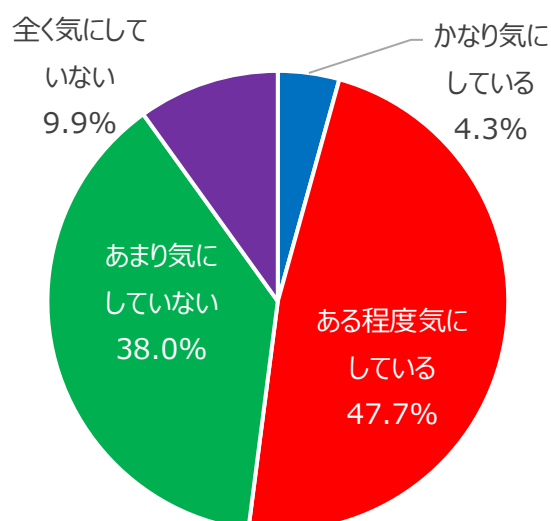
※主なその他の回答

- ・産地
- ・賞味期限
- ・なるべく専門店（JA・魚屋・肉屋）で購入
- ・安全性
- ・持ちの良さ
- ・買いに行く場所が寄りやすい場所か

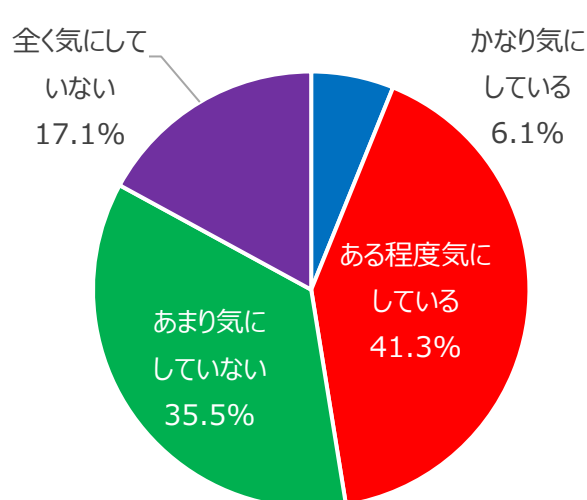
(15) 購入する農水産物の産地に関して、どの程度気にしていますか。

①ブランドとして有名な産地のものであること。

②藤沢産のものであること。

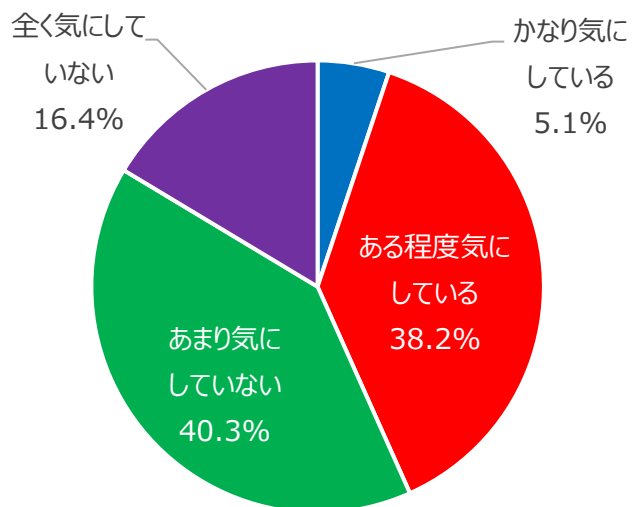


n = 1,370



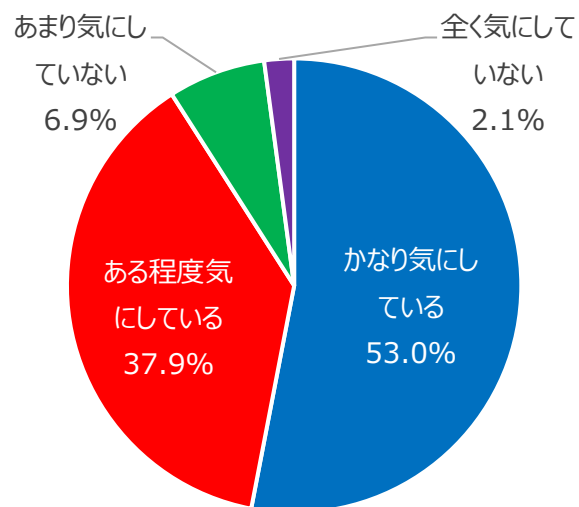
n = 1,372

③ 県内産のものであること。



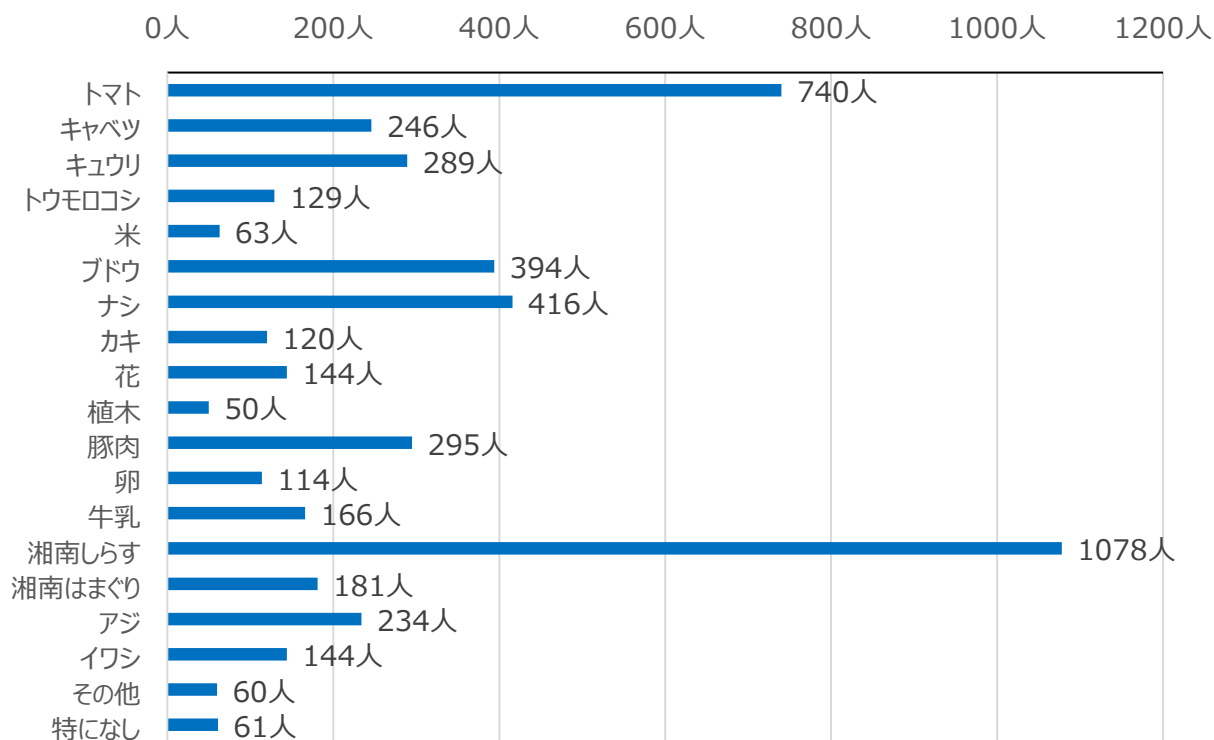
n = 1,367

④ 国産のものであること。



n = 1,369

(16) 藤沢産の農水産物といえば、何を連想しますか。(複数回答可)

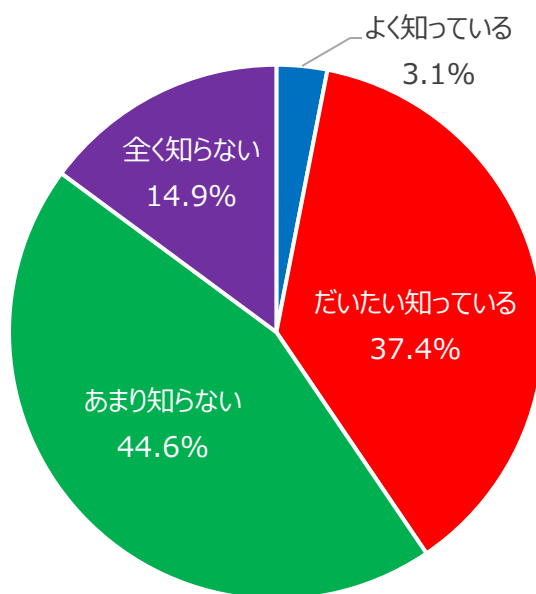


n = 1,369 k = 4,924

※主なその他の回答

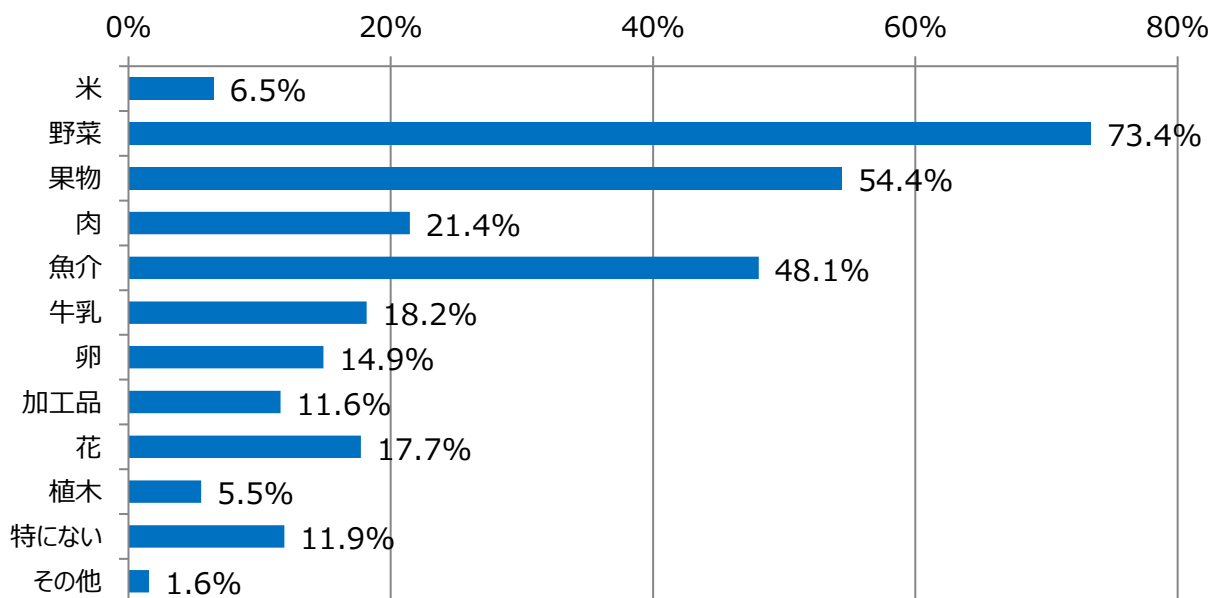
・枝豆 ・菊芋 ・タケノコ ・栗 ・小麦 ・湘南ゴールド ・ワカメ ・スイカ
 ・大根 ・さつまいも ・イチゴ ・ほうれん草 ・カマス ・ナス ・白菜 ・かぼちゃ

(17) 藤沢市内で生産されている農水産物の旬の時期をご存じですか。



n = 1,338

(18) 購入したことがある藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)

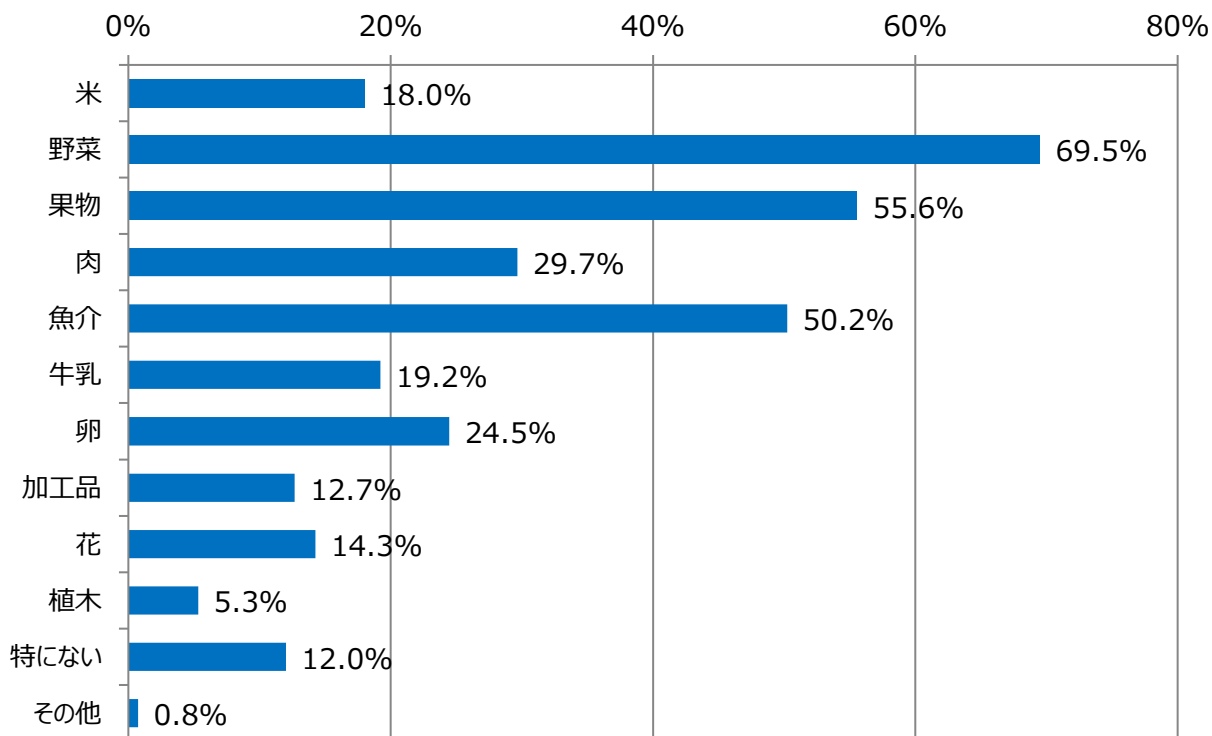


n = 1,338 k = 3,815

※主なその他の回答

・藤沢産の小麦を使ったパン

(19) 今後、購入したい藤沢産の農水産物は何ですか。(複数回答可)

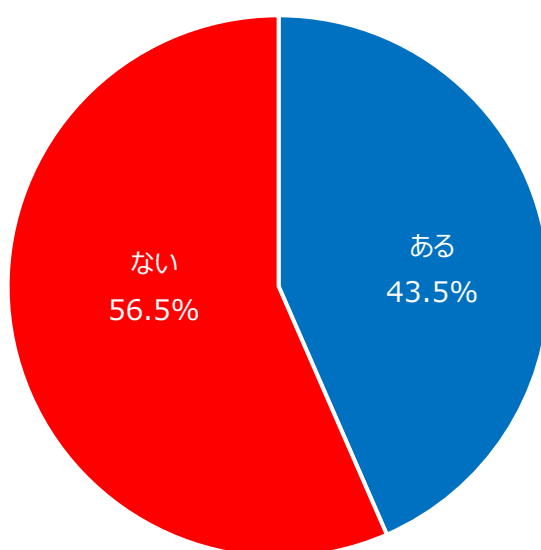


n = 1,332 k = 4,152

※主なその他の回答

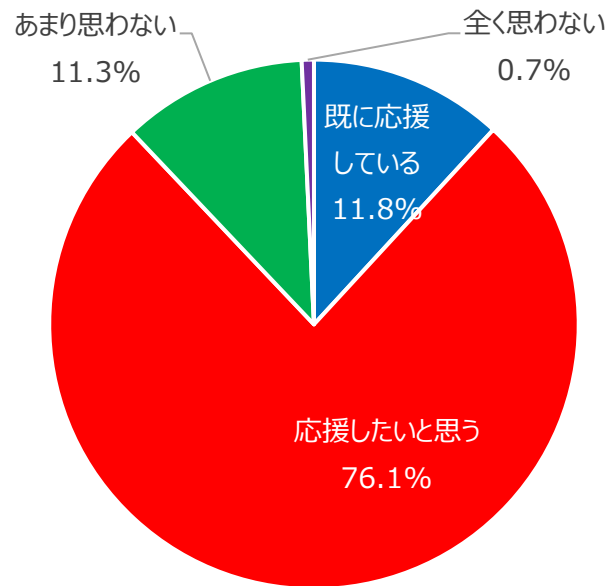
- ・安ければ購入する
- ・産地は気にしない

(20) 「藤沢産」ロゴマークを目にしたことがありますか。



n = 1,330

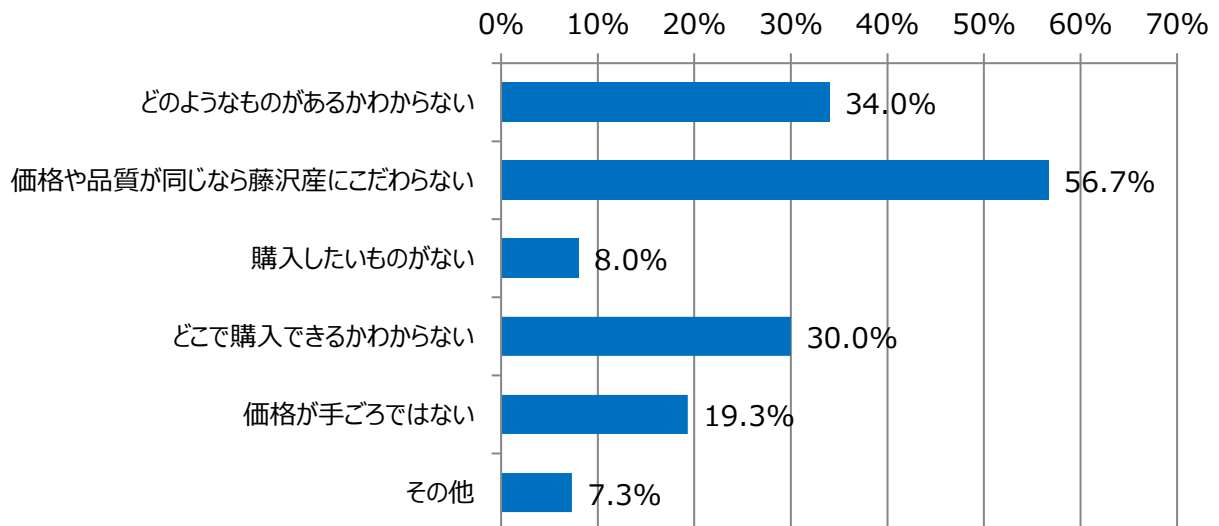
(21) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思いますか。



n = 1,342

(22) 藤沢産の農水産物を購入して「地産地消」を応援しようと思わない理由は何のようなことですか。

((21) で「あまり思わない」、「全く思わない」と回答した方) (複数回答可)

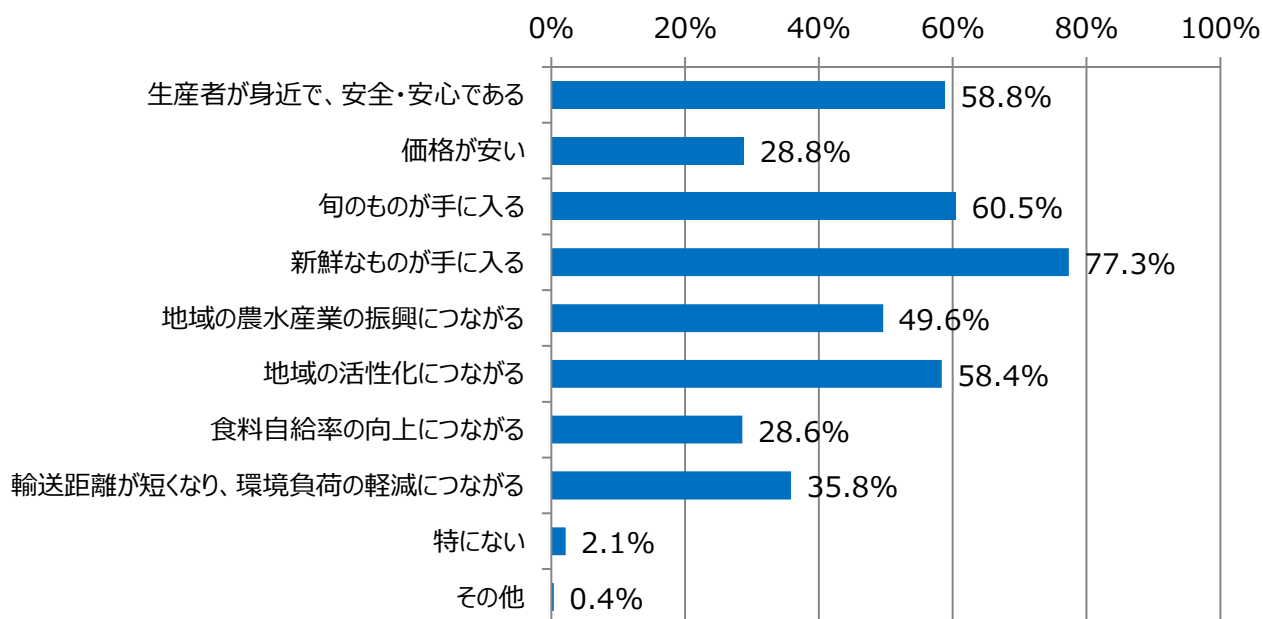


n = 167 k = 257

※主なその他の回答

- ・価格が高いイメージがある。
- ・関心がない。
- ・なかなかスーパーで見ることがないから。

(23) 「地産地消」のメリットとして、あなたの印象や感じるものを選んでください。
(複数回答可)

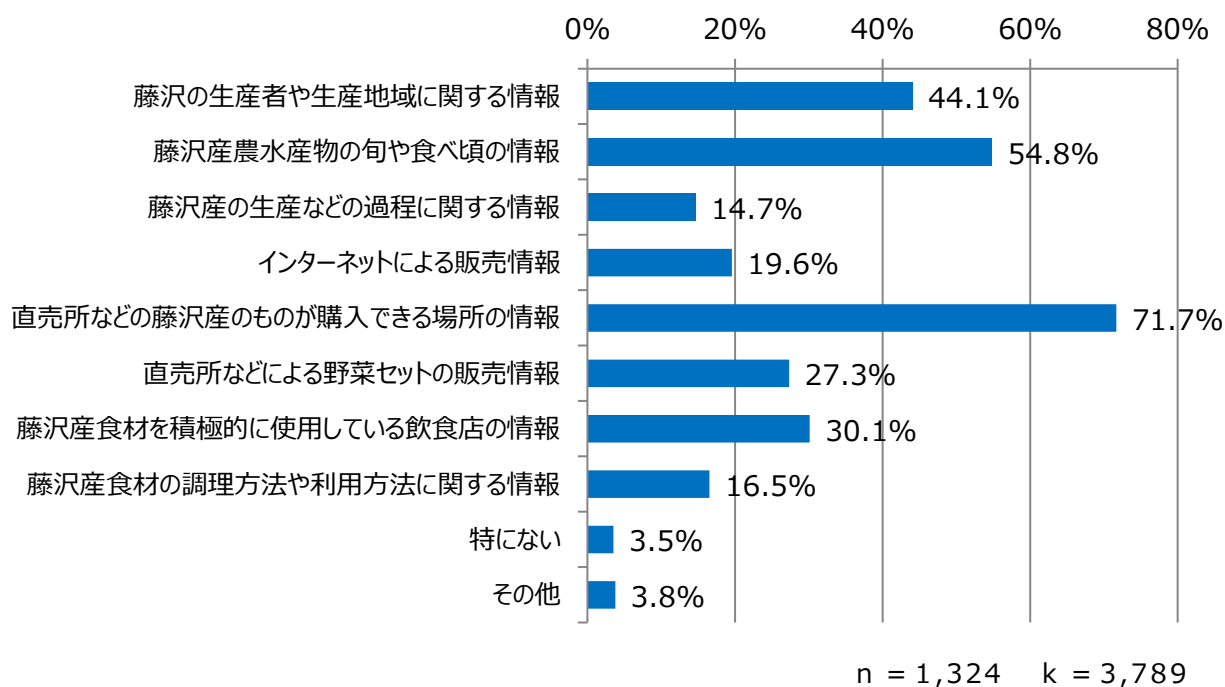


n = 1,323 k = 5,295

※主なその他の回答

- ・地域の伝統農法、品種の保存に繋がる。
- ・地域の食文化を守ることにつながる。
- ・自然と人と食を安心安全に結びつける。

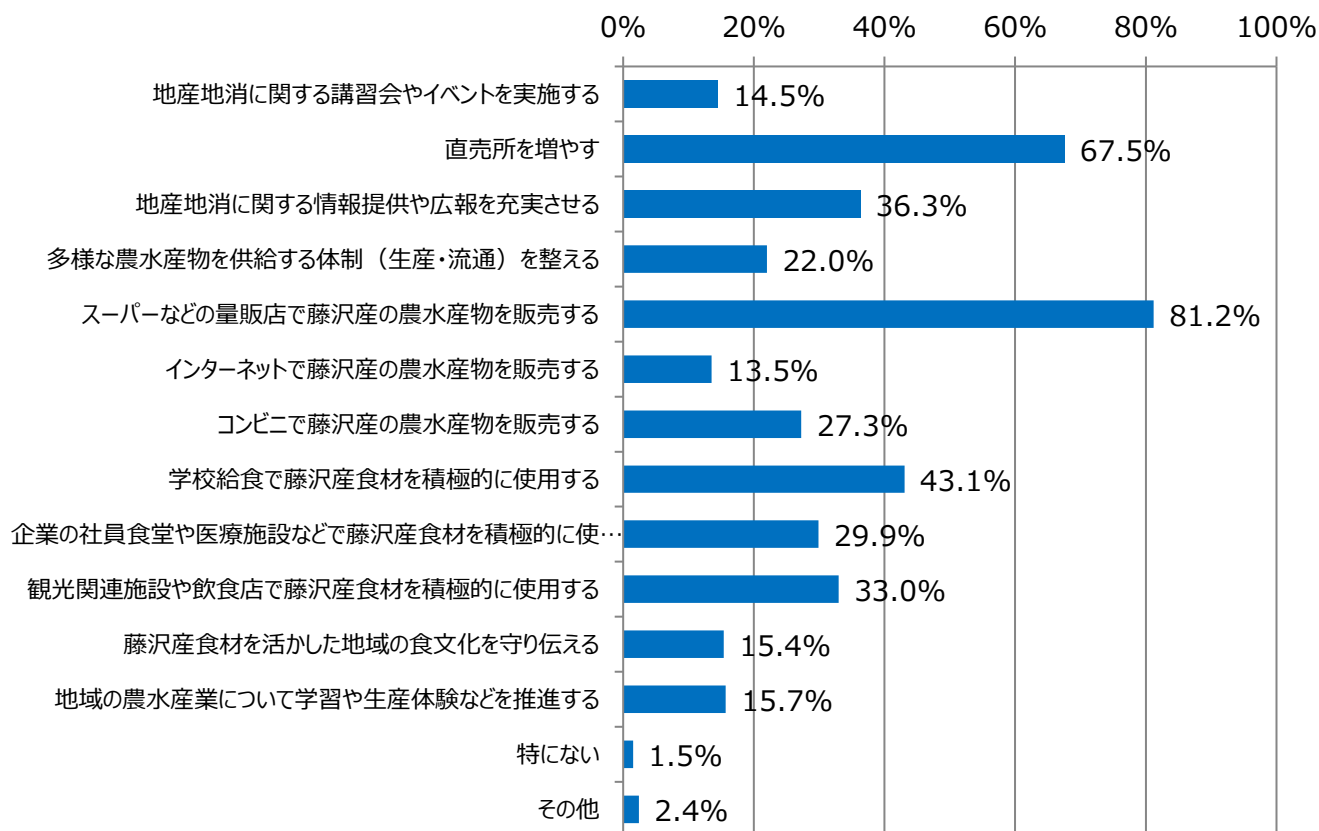
(24) どのような情報があれば、あなたは「地産地消」に取り組みやすくなると思いますか。(複数回答可)



※主なその他の回答

- ・お米券のようなクーポン。
- ・スーパー内での取扱いを増やす。
- ・移動販売車が定日・定時に巡回すると高齢者には有難い。
- ・コンビニ・スーパーでの販売。
- ・配達してくれるシステムがあると嬉しい。
- ・インフルエンサーを使った PR。
- ・LINE での情報発信。
- ・藤沢産食材を安く手に入れられる情報。
- ・藤沢産食材を使ったレシピ。
- ・安全性や美味しさの指標の提示。

(25) 「地産地消」をより進めるためにあなたが効果的だと思う取組を次の中から選んでください。(複数回答可)



n = 1,331 k = 5,368

※主なその他の回答

- ・道の駅 ・農家によるワークショップ ・体験学習（大人向け） ・ブランド化
- ・クーポン配布による購買意識の向上。
- ・旬のレシピの広報への掲載。
- ・価格を抑える。
- ・スーパーにコーナーを設けて安く売る。
- ・SNS や動画での発信。
- ・具体的な特産品を周知する。
- ・このまま買わないと藤沢の状況がどのように悪化するなど、具体例があると協力しなければと思うようになる。
- ・市が場所を提供し、農家が運営する直売所。
- ・地区の公民館を利用した販売活動。
- ・（農業や店を）継承してくれる人の支援。

(26) このアンケート及び「地産地消」についてのご意見等がありましたらお聞かせください。

【1 藤沢ブランドの創出】

(1) 一次産品の創出

- ・藤沢市の特有の特産物をもっと作ってほしいです。
- ・全国的に有名な農産物をつくり、ブランド力を高めれば、地域での消費が増えるかと。地域外にも消費が増える可能性もあるかも。

(2) 加工品等の開発

- ・冷凍食品のように調理済みのものだと扱いやすいかなと思います。
- ・乾麺などもあったら手土産にも重宝するのでぜひお願いします。
- ・新しい加工・産出品の創出も良いことと思うが、昔からある味が受け継がれていけない現状があることも知ってほしい。

(3) その他

- ・多くの地域には特産品がありますが、藤沢市に特産品があるのか知りません。
- ・藤沢産の名産品として釜揚げシラス、湘南ゴールド、ブドウ等々があります。いずれも知名度が低い点が難点だと思い、認知度を上げていただきたいです。
- ・藤沢市に住んでいますが、「鎌倉野菜」の方がよく耳にします。

【2 給食供給強化】

(1) 給食における藤沢産農水産物の利用促進

- ・中学校給食で藤沢産のものを多く取り入れ、給食を現在の選択制から全員が同じものを食べられるように改善してほしい。
- ・子供の学校給食の献立に藤沢産の食材が使用されているととても安心感があります。これからももっと増やしてほしいです。
- ・もっと学校給食での藤沢産農産物を増やすべきです。パンや小麦類などの食事が多いので、藤沢産の米や農産物を使った給食が提供される機会が増やすべきだと強く思います。

(2) 学校教育での食育

- ・未来の世代に地元の農水産業を知ってもらうためには学校での現場見学、体験が効果的だと思う。協力してくれる事業所を役所のほうから働きかけて増やしていけたら子供たちにとっても豊かな経験になるだろう。
- ・地産地消の復興のため農家の方々と小学校の児童との交流を増やして子供への教育を通して深めてほしい。

【3 普及啓発】

（１） イベント・講座の開催

- ・そもそも地産地消食材を目にする機会が全くないので駅の中や駅前で地産地消フェアやイベントなどを開いてほしい。仮に開いていたとしても分かりにくいので、もっと目立つようにしてほしい。
- ・地産地消が根づくには、若い世代、子育て世代の共感が大切だと思います。市民祭りなどの場でブースを出して広報するのも一案かと思います。
- ・よくショッピングモールなどで見かける物産展のように、藤沢物産展を定期的で開催したり、藤沢産食材の試食会等を広く行い良さを知ってもらうのも良いかもしれません。
- ・収穫体験などイベントがあればすこし足を伸ばしてこんなところからは畑がこんなあるんだと発見にもなる。

（２） 藤沢産農水産物の表示

- ・あまりスーパーなどで「藤沢産の表示」は見たことが少ない。（野菜・魚他）
- ・（藤沢産の）マークを初めて見たため、意識して探そうと思います。
- ・藤沢産の農水産物がそれほど目に入らなかったのも、これからは気にしてみようと思います。
- ・駅や店頭でこれが藤沢産です！などのポスターがあったら嬉しいです。
- ・身近なコンビニ、スーパーで「産地」がもっと見やすく販売されれば年齢問わず購入する機会が増えると思います。

（３） 量販店等での販売促進

- ・スーパーに地場農産物のコーナーがあるところでは、なるべくそこから選ぶようにしているので、わざわざ買いに行かなくても買えるようになれば消費も増えると思う。
- ・多くの人が利用するスーパーなどで販売してもらいたい。
- ・農水産物は毎日のように購入したいのでコンビニ等で販売してくださると助かります。
- ・スーパーなどで藤沢産の農水産物のブースとして紹介した方が良く思う。
- ・地産地消については興味があるがスーパーなどではほとんど販売されておらず、購入したくても購入できない。果物なんかは遠すぎて買いに行けない。

（４） 購入場所、機会の拡充

- ・藤沢は観光地としても有名なもので、北部と南部の交通量の多いところに道の駅を作って旅行者への農産物のPRと地域住民への地産地消をPRしてもよいのではないか。
- ・高齢化が進んでいるので荷物運びに苦労されているご老人が増えると考え、宅配・移動販売など増やしたらどうか？
- ・せっかく藤沢産があるのに広く直売所等がないので買えない。

- ・応援したいと思うが販売しているところが少ない。
- ・いいものがあるはずなのにどこで何を販売されているのかをわからないし、あっても車がないと不便な場所にある。
- ・藤沢市役所前でやっている農作物の販売がその他の場所でもあったらいいなと思いました。
- ・藤沢市の地産地消は、北部が野菜類、南部（海岸）が海産物となっていて、南部では野菜類の直売所が少ないと思う。
- ・地域活性化につながると思うので、駅でも野菜を販売してほしいです。仕事帰りに購入できると嬉しいです。

（５）利用推進店の充実

- ・藤沢産の食材を使っている、飲食店（チェーン店以外）をアピールする。
- ・地産地消については関心がありますが、なかなか普段意識することがないので、もっと身近に感じられるように飲食店を通してアピールされたいと思います。
- ・地産地消のレストランやカフェがもっと増えてほしい。

【４ 付加価値向上】

（１）安全・安心

- ・食の安全性を考えると藤沢の地産地消は今後増々重要なテーマとなると思います。
- ・自分の住んでいる町で作られている農水産物であれば、安心して口にできると思う。
- ・地元産ということ以上に安心できる食材はありません。

（２）新鮮な農水産物の提供

- ・遠くから輸送費をかけて運ぶより、作った地元で消費する方が環境に優しいし、新鮮なものが手に入るのだからこれからも地産地消に協力したいと思います。
- ・見た目が悪いものは安く、立派に育ったものは多少高くても、地物は新鮮というメリットが大きいように思います。
- ・地元の野菜はJAや他スーパーで好んで買っています。安くはないけど味が良くて何よりも新鮮なので安心して食べられます。これからも藤沢産の新鮮なものの提供を期待しています。

【５ 農水産業の維持・発展】

- ・生産者（農家）の収益の向上と継続性の安定（後継者）が地産の条件。
- ・農家が強くなる施策を実行してほしい。農家による経営、販売経路の拡大、ECを使ったワークプレイス、農家が儲かる、人気のある職業にしてほしい。

・農家が農業を継続できる安定した収入を得られるよう市の財源をどんどん投入してほしい。農機具や肥料などの購入費用を自治体が補助すれば、少なくとも農家の成り手は減りにくいと思います。

【6 情報発信】

（１） SNS

・藤沢産を食べたり使用したりすることがステータスになるようにインフルエンサーを起用する。

・SNS や動画での発信で若い人にも届きやすくする。

・これからの時代はネット、SNS で検索すればすぐ情報が入手できるという波に乗る必要があるかと思う。

（２） 広報ふじさわ

・広報宣伝がもっとあっても良いと思う。リピーターで消費されてしまい一般市民の口になかなか入らない。

・広報は必ず目を通すので、旬のもの、どこで入手できる、レシピ等を掲載すると良いと思います。

・「広報ふじさわ」にて宣伝するとともに「どこで買える」まで書いてほしいです。いつだったか買いたいと思ったが、どこで販売しているかわからず「あきらめた」ことがありました。

（３） 求められている情報

・藤沢市の野菜など扱っている直売所がサイトで載っていると助かる。

・販売場所に加え、種類、価格などの情報を充実させる。『地産地消』の言葉だけでは難しい。

・市役所に行ったときに入り口で見かけますが、どこへ行けば良いか扱っている店がわかりません。何か一覧表みたいのがあるといいです。

・農水産物の直売所のマップや販売所の推しの農水産物の情報が知りたいです。

（４） その他

・藤沢に長年住んでいるが、地産地消についての PR をあまり聞かない。

・テレビで藤沢市が取り上げられることが近年多い気がします。その中で地産地消を紹介できたら効果が出るような気がします。

・とんとん祭りで絵のコンテストなどの機会もあったので、身近なことから知るチャンスがあるとみんなが意識して地産地消を盛り上げていきやすくなると思います。

・「地産地消」の製品の販売を向上するには、まずは情報発信力！「聞く」「見る」「嗅ぐ」の機会を多くすることで関心が増える。

【7 購買欲促進】

（１） 農水産物の価格

- ・「わいわい市」だけではなく、各スーパーにも地元産が多く並び、またそれが安価に手に入るようであれば、藤沢産を選びます。
- ・昨今、物価高の影響で品質に問題が無ければより安価なものを購入する傾向にあると考えます。
- ・地域ブランドとして、価格が高くなると購入しにくくなります。
- ・地元の生産品果物などおいしくて品質はとても良いと思われそうですが、価格は高いのではと、もう少し手軽だとうれしいと思います。
- ・物価が全体的に高まっている中で、価格を下げることは難しいと思いますが、地産地消を進めていくためには手に取りやすい価格設定にする必要があるかと思います。
- ・地元の生産物をできるだけ購入したいと思っているが、地元のものが安いわけではない。

（２） 規格外農水産物の販売

- ・新鮮で安価なら、規格外の野菜や果物等売れると思うのでもっと出荷してもらいたいです。
- 新鮮で味は変わらないので「規格外」として並べてほしいです。
- ・多少形が悪くても、一般の野菜、果物と価格競争が出来れば、購買が増えると思うので、そういう取り組みも増やすと良いかと思います。

（３） その他

- ・地元ブランドと評して付加価値をつけたものと通常の別産地の安価なものが並んでいた場合間違いなく安価なものが選ばれやすいと思われるため、地産地消ならではのコストの反映が重要になると考えます。
- ・買い物をするときはメニューを考えながら買うので、地産のコーナーがあって、おすすめメニューの作り方とかがあったと参考しやすいし、購買欲が up するかも。
- ・新鮮で安全で安価であれば過剰な包装や梱包ではせずにしてもらえると、購入意欲が湧くのではないかと思います。（野菜などは綺麗に洗う必要はない）

【8 その他】

- ・わいわい市藤沢店で販売されているものや、藤沢市内でとれた鮮魚など藤沢産を使ったレストランをわいわい市藤沢店に併設してほしい。
- ・地産地消を進める事は大事だが、大企業や大型スーパーと契約したり販売ルートを拡大しすぎると、今まで身近に購入できていた物が購入しづらくなる可能性があり心配で

す。「藤沢のものは藤沢で」という事を大前提にこれからもすすめて行って下さると幸いです。

- ・近年の物価高で、お米の値段が上がったり、食料品全体の値段が上がる中で、正直なところ「地産地消」を意識する余裕がありません。

- ・地産地消を藤沢市が推奨してる事実すら知りませんでした。これを機に藤沢産の野菜、たくさん食べてみたいと思いました。

- ・値段だけを見るとつい安いものを選びがちですが、結果的に満足度が高いのは藤沢産。地域の方たちの温かさも伝わってくるように思います。今後も地産地消に積極的に関わっていきたいです。

- ・行政は若い人たちの新鮮な威勢を取り入れて、若い感覚の「地産地消」を目指していただきたい。期待しています。

**令和 7 年度
地産地消に関するアンケート結果**

令和 8 年 1 月
藤沢市経済部農業水産課
〒251-8601 藤沢市朝日町 1 番地の 1
TEL 0466-25-1111（内線 3431）
FAX 0466-50-8256
Email fj-nousui@city.fujisawa.lg.jp